１．化学療法開始から１週間後、白血球1200／μl、血小板4.5万／μl、体温36.6℃、胸部X戦写真撮影で異常陰影はなかった．今後予想される状況はどれか？

１）出血の危険性は低い．

２）脱毛が起こる可能性は低い．

３）感染症が起こる可能性は高い．

４）移植片対宿主病の可能性は高い．

２．急性骨髄性白血病の患者が強力な化学療法を受け，脱毛と発熱があり，汎血球減少状態にある。 　正しいのはどれか。

1）脱毛は不可逆的である。

2）発熱は腫瘍熱が考えられる。

3）輸血は放射線照射処理をした血液が勧められる。

4）ラミナフロー(平行気流)装置の風上から患者に近付く。

３．輸血の合併症でないのはどれか。

1）移植片対宿主病(GVHD)

2）高カルシウム血症

3）じんま疹

4）肝炎

４．貧血の治療で誤っている組み合わせはどれか？

１）悪性貧血−−−−−——————ビタミンKの投与

２）再生不良性貧血—————骨髄移植

３）透析中の腎性貧血———エリスロポエチン

４）溶血性貧血—————————脾臓摘出

５．慢性白血病について誤った記述はどれか？

　１）慢性骨髄性白血病は多能性幹細胞の腫瘍化で、骨髄増殖性疾患の一つである。

　２）慢性骨髄性白血病では相互転座t(9;22)の結果、bcr/ablという融合遺伝子ができる。

　３）好中球アルカリフォスファターゼスコア（NAP score）が高値を示す。

　４）慢性骨髄性白血病の治療の第一選択はグリベックである。

６．成人T細胞性白血病について誤った記述はどれか？

　１）レトロウイルスHTLV1のCD8陽性細胞への感染によって発症する。

　２）主に輸血で感染し、母乳を介した感染もありうる。

　３）日本では九州南部、南四国などに多い。

　４）現在では、成人T 細胞性白血病・リンパ腫と分類されている。

７．大球性貧血を呈する疾患はどれか？

　１）鉄欠乏性貧血

　２）溶血性貧血

　３）悪性貧血

　４）再生不良性貧血

８．２０歳の女性。眼球結膜に貧血を認め、スプーン状爪を認めた。誤っているものはどれか？

　１）鉄の欠乏による貧血が考えられる。

　２）酸素供給不足のために脈拍数は多い。

　３）脾腫を認める。

　４）血液検査では低色素性貧血が考えられる。

９．骨髄について誤っているものはどれか？

　１）正常骨髄中には造血細胞の幼弱型が存在し、血球を産生している。

　２）血小板の母細胞は巨核球である。

　３）骨髄腔は長幹骨に存在するが、扁平骨には存在しない。

　４）新生児の骨髄中には脂肪細胞が少ないが、老化に伴って増加する。

１０．急性白血病について誤っているものはどれか？

　１）小児ではリンパ性白血病が骨髄性白血病より多い。

　２）成人では骨髄性白血病の方がリンパ性白血病より多い。

　３）M３では播種性血管内凝固症候群が多く認められる。

　４）急性白血病の診断は末梢血検査で十分である。